

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月28日

事業所名 薩摩川内市子ども発達支援センターつくし園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園人数によっては狭いときもあり不自由もあるが、職員が工夫して活動できている。</li> <li>・12人登園する日は机を壁に付ける自由遊びは屋外に出るなど工夫している。</li> <li>・人数に対しては狭い・壁向きで机を配置している。</li> <li>・訓練室やプールームは時間帯で交代して使用している。</li> <li>・机の配置の工夫</li> <li>・机等の配置を工夫したり、活動内容の変更をする。</li> <li>・以前に比べて、1日あたりの利用人数が増えているため部屋のスペースが狭い。</li> <li>・1日の利用人数を平均にして、利用日が重ならないようにしている。</li> <li>・一対一対応の子どもさんがいらっしゃる為、曜日によって、利用される子どもさんの特性を考慮配慮してメンバー構成を工夫している。</li> <li>・園児が怪我しないような環境構成を工夫しています。</li> </ul>	
	2	職員の配置数は適切である	16	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児4人に対して職員1人の配置基準は満たしているが、突発的な園児の対応がある時は人手が必要なきもある。そのような時は応援を呼びかけ職員みんなでフォローし合っており助かっている。</li> <li>・子供の人数に対して、職員配置し、足りないクラスには協力しながら応援に入る。</li> <li>・なし</li> <li>・人数、活動内容によって配置している</li> <li>・全体でも人数が少ない場合があり、合同で行なったりしている。</li> <li>・どうしても職員が1人つかないといけないうちの子供がいると手薄になってしまっている。</li> </ul>	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> <li>・マットを敷いて怪我がないようにしている</li> <li>・段差は少ないが、手洗い場やトイレなどは使用しにくいと思います。トイレに手すりを付けて体を支えやすく、姿勢保持できるようにした方が良い子供さんがいると思います。</li> <li>・体感が弱かったり、おぼつかない子等、寄り添ってあげたり、玄関は、板を置いたりしてスロープを作ったりした。</li> <li>・建物が古いので、少しずつ新しく改装してもらえたらありがたいです。</li> </ul>	・施設設備の改善のため、運営基金の積み立てを今年度から実施した。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	15	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ時間を作り、情報共有している。</li> <li>・前年度より、話し合いは多くしていると思う。</li> <li>・少しの時間でも声を掛けあって、話し合いを持ち意見を出し合っている。</li> <li>・定期的に話し合いを行い、改善点を挙げています。</li> <li>・評価や課題分析、振り返りがうまくできていない</li> </ul>	

業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最低年一回は、児童発達支援評価を実施し、課題や改善すべき点について検討をしている。出来る事は早めに改善するよう努めていると思う。</li> <li>・保護者からの意見を行事等の後は確認するようにしている。</li> <li>・クラスの子供はもちろん、他のグループの子供達、保護者にも、積極的に話しかけ、周りのみんなでサポートしていることを、感じて貰えるような声掛けは心がけている。</li> <li>・現場でできそうな事は話し合い、改善しようと努力したい。</li> <li>・意見に沿って改善しています。</li> </ul>	・業務改善は、全体研修に位置づけ、改善点とその対応策を見える化していく。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ足りないのかなと思ったりする。</li> </ul>	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な話を聞いてその子にあった対応をしている。</li> <li>・良く解らない</li> </ul>	・運営協議会等の意見・評価を職員に示し、対応策を明確にし、改善につなげていく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	16	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、基礎研修を園内でし、学ぶ機会が増えている。</li> <li>・研修のプリントを準備していただいてみんなで話し合いが出来ている。</li> <li>・今年度は、研修係が頑張ってくれたので、再確認できた。</li> <li>・定期的に行っている。</li> <li>・充実した内容の研修が行われています。</li> <li>・今回、研修を月に1回行い改めて勉強になった。</li> </ul>	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの職員間で、確認しながらしている</li> <li>・保護者との連携を密に図っています。</li> </ul>	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでの話し合い</li> </ul>	・アセスメントや課題分析について、職員研修をし、共通理解を深めていく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの職員間で話し合い</li> </ul>	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人に合わせた、療育設定を入れていく</li> <li>・個々ではできないことも集団になると個人差があってもいい</li> </ul>	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を持って活動できるようにする</li> </ul>	

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員内で色々意見を出し合いながら…計画を立てている。</li> <li>・興味を持って活動できるようにする</li> </ul>	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援計画に沿った設定遊びを毎週計画し、マンネリ化しないような活動計画をたてるよう心がけています。</li> <li>・色々な資料を集めて、子供たちが楽しめる内容を考えている。</li> <li>・他グループで、これは子供達が凄く食い付いたとか、楽しんだと聞いたものを、自分のクラスに合わせた活動にしてみる</li> </ul>	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援計画に沿った設定遊びを毎週計画し、マンネリ化しないような活動計画をたてるよう心がけています。</li> <li>・個別で対応した方がいい場合は、丁寧にじっくり関わっている。</li> <li>・年齢や個々に応じた取り組みが難しい部分があり、偏りが出てしまう場合もある。</li> <li>・グループでの話し合い</li> </ul>	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ職員が全員で打ち合わせができることは少ないが、極力連携が取れるように心がけています。</li> <li>・朝、登園する子供、療育内容を職員間で再確認し、リーダーの指示のもと、役割分担している。LINEで確認</li> <li>・共有をしている。</li> <li>・活動やお部屋の準備をしながら、打ち合わせを行うようにしている。</li> <li>・グループのメンバーで内容の共有や確認を行うように努めている。</li> <li>・時間が無い場合、メールでやり取りする</li> <li>・グループでの話し合い</li> </ul>	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	15	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳を書きながら、職員間で話は出来ている。</li> <li>・少しの時間でもみんなでその日の振り返りを行っている。</li> <li>・掃除や明日の準備をしながら行うようにしている。</li> <li>・気になったことは、共有するよう心がけているが、バス等に乘ったりするので、タイミングが合わないと、当日は無理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末に設定した職員連携の時間が、事務処理だけに費やすことがないように共通実践化する。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日誌を記入し、個々の園児について詳しく記録をとり、児童発達支援計画に反映させています。</li> <li>・意見を出しながら、療育の質が下がらないよう努めている。</li> <li>・活動中など気づいた時にメモを取るようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達管理責任者を中心に、担任との連携強化を図り、サービス改善を図る。</li> </ul>

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、最低2回は児童発達支援計画を作成する度にモニタリングを実施できている。</li> <li>・月1で支援会議している。</li> <li>・グループでの話し合い</li> </ul>	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時に、児童発達管理責任者と担任が参加し、共通理解を図っている。</li> <li>・きちんとすべき人がする</li> </ul>	
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて、併行通園先と連携を密に取ることができています。</li> <li>・豆の木などで保健師や関係機関と連携を取りながら支援している。</li> <li>・保育園とは、変わったことなどがあると情報共有のため、電話連絡などしている。</li> <li>・センター、事業、のトップが、きちんと外との連携を取り、各グループへのきちんとした流れが出来る、より良くスムーズに進むのでは。</li> </ul>	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	11	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、医療ケア児の利用はない。</li> <li>・1度離れているので。</li> </ul>	・重症児・医療ケア児の受け入れに向けた対策チームを立ち上げる。(社協と連携)
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	11	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、重症児の利用はない。</li> <li>・今は受け入れをおこなっていない。</li> </ul>	
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保連絡会や、就学教育相談前までに園児についての情報共有を実施できている。</li> <li>・幼保連絡会や保育所等、巡回で情報共有している。</li> <li>・足りていないので、情報共有できる体勢を整えられたら良いと思う。</li> <li>・一応、各担任での平行通園先には、ある程度出来てるとは思う。</li> </ul>	・健康診断・健康相談・強化事業など、発達支援の専門家のアドバイスを基に、個に応じた支援計画を策定し、家庭との連携を密にした支援策を講じていく。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に情報共有を行っている</li> </ul>	・保育園等や児発事業所及び小中学校等との連携は、職員の交流研修を含め強化していく。

関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	13	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移行支援シートを作成し提出している。また、就学先の先生方と直接話し、園児についての情報共有ができています。</li> <li>・保育所等、巡回などで情報共有している。</li> <li>・移行支援シートの取り扱いを受け取った、学校側が、きちんと担任、主任等でいかにせるように、園長、グループ長が一言添えて頂くと、更に、移行支援シートの重要性が小学校で把握し、きちんと読んでもらえるのでは</li> </ul>	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの園児が幼保等と併行通園であるため、障害のない子どもと活動する機会はとれている。</li> <li>・交流会を通して色々な子供たちとコミュニケーションをとるのはいいと思う。</li> <li>・コロナの前も無かったが、受け入れてもらえるなら、先ずは近くの方とのもりをお願いしてみても良いのでは？</li> </ul>	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	16	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当の先生方が、行ったらしやると認識しているので、そこでの報告が解りやすくあれば良いのかなあとと思います。</li> </ul>	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳、電話、LINE等を活用し、保護者と密に連携がとれている。</li> <li>・提供書をはじめ、グループLINE、電話連絡、定期的に面談などでお知らせしている。</li> <li>・ラインや電話などで連絡しています。</li> <li>・お迎えに来た時など、子供さんの様子などをお互いに話し、家庭での様子を知るようにしている。</li> <li>・毎回、こちらからは、何かしら状況を伝えているが、サービス提供書への書き込みが無い家庭での様子は、解らない。</li> </ul>	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者と密に連携をとり、悩みに対して個別で対応できている。</li> <li>・ペアレントプログラムを保護者にしてほしい。</li> <li>・家族理解のための勉強が必要だと思う</li> <li>・以前の様な、保護者向けの研修会があっても良いと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族支援の充実のため「家族支援プログラム」等の策定と実施をめざす。</li> </ul>

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時、利用契約書・重要事項説明等を児童発達支援管理責任者又は、担任が保護者に説明を実施している。</li> <li>・初めの担会では伝えている</li> </ul>	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、最低2回は児童発達支援計画を作成し、作成の度に、保護者と面談を実施している。</li> <li>・支援会議終了後出来る限り早く保護者とも面談を計画する。</li> <li>・各個人の半年に1回の支援会議の後、面談を行っている。</li> </ul>	・早期の児童発達支援の必要性などを十分に説明し、理解した上で利用してもらうようにする。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問や面談をしている。</li> <li>・極力、送迎時、電話、LINE、サービス提供書のどれかでは、伝えるようにしている。</li> <li>・定期的に面談を行っている。面談が難しい場合は電話で対応している。</li> </ul>	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園長が中心となり、保護者回と連携したり、事務分掌の保護者会との連絡調整係の職員が中心となり連携をとっている。</li> <li>・親睦会などしている。</li> <li>・ぽぷらに関しては、年度始めの説明会の時、保護者同士でのLINE交換をされていたので、やはり年度説明会等の、早いうちの保護者の集まりはは大事だと思う。</li> </ul>	・同じ悩みを持つ保護者同士の集いの場として保護者会のあり方を見直していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、担任または、園長が相談の申し入れに対して対応できている。</li> </ul>	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の月報、2週間ごとの週報作成をして、マチコミメールでの保護者への発信または、各幼保等への配布を実施できている。</li> <li>・週報、月報をはじめ、マチコミなどでも伝えている。</li> </ul>	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	19	0		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳、電話、LINE等を活用し、保護者と密に連携がとれている。</li> <li>・誠意を持ってする</li> </ul>	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている	10	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年はつくし園祭りが実施できていないが、収束した際は実施したい。</li> <li>・コロナ対策の為していない。</li> </ul>	・障害者理解や自立支援のためにも、関係団体の協力を得て、地域との交流を活性化する。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練を実施し、有事に備えている。</li> <li>・川内原発の避難訓練は改善する必要あり</li> <li>・もう少し、きちんとどうするか、練る必要があるとおもう。</li> </ul>	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月一回は、消火・避難訓練を実施できている。</li> </ul>	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入園時に保護者に確認をとっている。</li> <li>・大きな持病などは把握していても予防接種については把握できていないので、今後は確認していきたいです。</li> <li>・アセスをしっかり確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者から事前に服薬状況等を確認し、服薬依頼書等を活用して確認している。</li> </ul>
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院受診していただいたうえで、医師の指示に従い対応できており、保護者からも情報提供がある。</li> <li>・年度始めの調査票や、保護者との連携で確認している。</li> </ul>	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	18	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・怪我等あった際は、ヒヤリハット記録をとり職員で情報共有している。内容によってはケース会議・職員会議等で積極的に意見交換、情報共有をしている。</li> <li>・どういう場所、状況でなのか、その年でまとめたりすると、更に解りやすく、気を付けることに気が向くのかなと思う</li> </ul>	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	19	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年、虐待防止・権利擁護の研修を計画するようになっているので実施できている。</li> <li>・必修研修で取り組んでいる。</li> <li>・年1の研修なので、研修以外でも、たまには話題に出しても良いのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束や虐待など組織的な対応や職員の研修、また、業務改善なども含めた態勢の見直しを図る。</li> </ul>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	15	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束している園児はいない。</li> <li>・部屋の入り口の鍵を閉めたり、療育の中でしていることが、身体拘束にあたるのであれば、きちんとこれらが身体拘束にあたるので、許可をして下さいと、年度始めにきちんと説明して書いてもらわないと、いざ、それが問題になったら、現場の職員だけの負担になってしまうのではと思うので、職員にも明確にして欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケース・リスク会議等において、インシデントプロセス法など、ワークショップ型の話し合いを導入し、当事者意識の高揚を図る。</li> </ul>